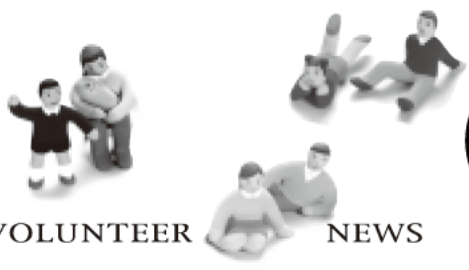


# 市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



## 【NPOチームからのお知らせ】

NPOからの協働事業提案を募集します!(4ページ)

## 【特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は3団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

- 認証申請団体 (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地(平成15年6月16日~平成15年7月15日申請分)  
 (1)和(なごみ) (2)中山理江(3)伊勢市上地町1520番地/(1)朝明川ルネッサンス(2)寺本哲也(3)三重郡川越町大字当新田450番地1/(1)NPOすずらん(2)中村 賢(3)桑名市大字下深谷部4808番地

- 成立した特定非営利活動法人(登記年月日)(平成15年6月16日~平成15年7月15日届出分)  
 特定非営利活動法人 MMBF(平成15年2月27日)/特定非営利活動法人 未来カンキョウ研究センター(平成15年6月6日)/特定非営利活動法人 セイフティサポート三重(平成15年6月11日)/特定非営利活動法人 西日本教育総合センター(平成15年6月12日)/特定非営利活動法人 風力・バイオマス開発情報センター(平成15年6月13日)/特定非営利活動法人 三重補助犬普及協会(平成15年6月23日)/特定非営利活動法人 MIEチャイルドラインセンター(平成15年6月20日)/特定非営利活動法人 陽光会(平成15年6月27日)

◆発行◆  
 514-0009  
 津市羽所町700番地  
 アスト津3階  
 みえ市民活動ボランティアセンター  
 Tel.059-222-5981  
 Fax.059-222-5971  
 E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
 NPOチームのホームページ  
<http://www.mienpo.net/npot>  
 三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

## 市民プロデューサーを知っていますか?

市民プロデューサーは、活動したい人を応援する人でもあり、自ら企画を立てて行動する人でもあります。今回は、先月末に開かれた市民活動をしている方の交流会の主催した話です。なんとNHKでも放送されました!活動のノウハウってなんなんだろう?何かするって大変なんじゃないの?と考えている方一度相談にいらっしやいませんか?

安村富子

こんにちは皆さん、市民プロデューサーの安村富子です。  
 センターオープン以来、国籍、年代、活動分野を越え想像以上に沢山の方々とお会いしてきました。三重県の印象は私たちで決まる(!)ぐらいの意気込みを持って、普段はセンター全体の受付、予約、情報の整理等に追われていますが、相談業務などを通して利用者のニーズを把握し、それを反映させるような市民プロデューサーの働きができればと、チームワークで頑張っています。

先日NHK津放送局で、私たち8人の仕事ぶりが思いがけなく紹介されました。市民プロデューサー企画として「アストDE茶ろん」を開催したところ、NHKスタッフが取材に来てくれたのでした。きっかけが何と、この市民活動・ボランティアニュースだったのです。あらためていろんな方に読んで頂いているのだと実感しました。

さて、「アストDE茶ろん」では、13団体の参加を得てミニワークショップも盛り上がりました。「県民交流センターでやってみよう」として、NPOのお店、一日喫茶などユニークな案ができました。この貴重なアイデアをひとつでも具体化することが私たちのミッションと考えます。

9時から22時まで一年中(年末年始を除き)アスト津3階で、私たちは皆様のお越しをお待ちしております。

紀平 早由美

こんにちは、市民プロデューサーの紀平早由美です。  
 ボランティア活動が大好きで、自分のしていることがNPO活動であることを知ってから、早くも4年7ヶ月の歳月が経ちました。今年も当センターを訪れていただく方に気持ちよく活動していただけるように、日々頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

さて、この場をかりてお礼を述べさせていただきます。6月29日の「アストde茶ろん」には、多数ご参加いただきましてありがとうございました。また、8月には「さぐろう!木のひみつを」と題して、ながい夏休みの一日を親子で楽しんでいただこうと計画しています。

## ボランティアコーディネーターってなんだ?? ② 野村希代

先日、ある方から相談を受けたときのこと。センターにあるボランティア募集掲示板に掲示されていた個人宅での介助ボランティア募集の情報を見て、その方が「これって直接問い合わせに行って見て、相手と性格が合わなかったり、自分の希望した活動内容と違ったりしても断りにくいですよ〜」と言われてハッとしました。その掲示板は、ボランティアを募集したい人がチラシを貼って(受付に一言、声はかけていただきますが)直接募集するという方法が取られています。確かにその方のおっしゃるとおり、チラシだけで相手のことがわかるわけもなく、活動内容も思っていたものと違うかもしれません。そのような不安を取り除き、みなさんのやる気を生かすためにコーディネーターが必要なんだとあらためて感じました。そこで、センターの市民プロデューサーとも相談し、センターに寄せられた個人からのニーズは、各市町村のコーディネーターに調整をお願いすることで、そのような不安をなくし、みなさんの思いを生かすように決めました。こうしてたくさんの方に育てられているんだと嬉しひしと感じたエピソードでした。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
 ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

市民活動ニュースはこちらにあります!  
 【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大町7-15 津センターバリス3階)/  
 オールウェイズ(津センターバリス1階)/津中央郵便ボランティアコーナー(津市中央)/有)デザインオフィス萩野(津市大町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/  
 南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4)/  
 鳥羽NPOネットワークセンター(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内)/四日市市市民活動センター(四日市市藤町4-17)/  
 アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり考案みなと(四日市市川原町26-13)/  
 寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウイリアム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地)/  
 みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/  
 上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリポート赤目の森(名張市上三谷268-1)/  
 明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上9-4-4-5)/  
 松坂大学(松坂市久保町184-6)  
 【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会  
 【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店  
 【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/  
 三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/  
 三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/  
 三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

# 特集

## 知って欲しい三重県の役割

### 第2回 「みえのうみ」ホームページ

海が豊かであるために、山・河・海を結び

今回は、情報が多すぎる今の世の中を便利に泳ぎ回れるポータルサイト、「みえのうみ」プロジェクトの紹介です。なんと、この企画は魚の気持ちで今の行政を見直してみようというユニークな視点がスタートになっています。アクセスする度に変わる魚の写真が大変楽しい、「みえのうみ」プロジェクト、これは必見です！夏休みの自由研究にも最適！かな？



伊勢湾や英虞湾のような閉鎖的な湾では、生活排水をはじめとする陸域からの負荷により水質・底質が悪化し、夏場には酸素がなくなってしまうなど魚介類にとってあまり好ましくない状況となり、湾でとれる魚や貝の水揚げは減少しています。

三重県農林水産商工部水産物供給チームでは、安心・安全な水産物を安定して提供す

るために、海をきれいにする取り組みを始めています。海をきれいにするためには、川を、そして山、そして人間の暮らしについても皆で考えて行くことが、必要だと考えています。

そこで、流域の環境を知って頂き、その状況を少しでもよくするために、皆様からの情報を一つにまとめ、共有していくホームページ「みえのうみ」を平成15年7月に開設しました。皆様の情報提供により育っていくサイトですので、たくさんの情報が共有できるように、身近な情報を提供ください。

ホームページで閲覧頂ける内容は、  
1.活動団体の紹介(流域で活動している団体の情報を提供します)  
2.生き物調査情報(流域で見つけた川・海にいる生き物を提供します)

3.環境学習情報(小学校等での活動を紹介します)

4.水質調査情報(国土交通省、三重県、企業庁、四日市市、鈴鹿市、亀山市、四日市港管理組合等の水質調査結果を提供しています)

5.海の恵み情報(三重県の水揚げ情報を、三重県内の各漁協から提供いただいています)

また、流域環境をより良くしていく活動のサポートや、流域でのリーダー養成等も行っていきます。詳しくは、ホームページ、又は水産物供給チームへお問い合わせください。



#### 問い合わせ先

三重県農林水産商工部水産物供給チーム 水産業振興グループ  
(みえのうみ担当)  
514-8570 津市広明町13番地 三重県庁6階  
Tel.059-224-2584 Fax.059-224-2608  
ホームページ <http://www.sea.pref.mie.jp>

## イベントスケジュール

### バスツアー 中部電力碧南火力発電所見学

- とき/8月7日(木) AM9:10~PM5:00予定
- ところ/近鉄四日市駅西集合 ●申込方法/事前申込必要
- 参加費/一般2000円 会員1000円
- 内容/夏休み子ども体験企画、電気の不思議を知る、中部電力碧南火力発電所見学バスツアー。
- 申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16  
四日市まんなかこども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670  
E-mail [mannaka@m4.ctv.net.ne.jp](mailto:mannaka@m4.ctv.net.ne.jp)  
ホームページ <http://www4.cty-net.ne.jp/~mannaka/>

### NPOよかぼん「みんなの夏休みパソコン体験」

- とき/8月9日(土) AM10:00~PM3:30
- ところ/四日市文化会館 第4ホール
- 参加費/入場無料(用紙代は実費50円~)
- 内容/もっと気軽にパソコンを使ってもらおうとパソコン体験会を開催します。当日はポストカード、うちわ、名刺づくりが楽しめるほか、デジカメ体験、パソコンゲーム、インターネットなども体験できます。また、小規模作業所商品展示・即売。障害をお持ちの方でもパソコンを利用できる入力補助器具やソフトなども展示します。
- 申込・問い合わせ先/NPOよかぼん Tel.0593-33-6768

### 四日市風の谷ウィンドアンサンブル 第三回演奏会

- とき/8月17日(日) PM1:30開場 PM2:00開演
- ところ/四日市市文化会館 第1ホール
- 参加費/前売500円 当日700円(全席自由・未就学児無料)
- 内容/「四日市風の谷ウィンドアンサンブル」は四日市を中心に活動している市民吹奏楽団です。花を見て「きれい」と思ったり、料理を食べて「おいしい」と思うのと同じように喜びや感動を与えてくれる音楽を目指しています。演奏会ではお客様に楽しんでいただけるよう、心をこめて演奏したいと思います。私たちと皆様にとって、音楽とのすばらしい出会いの場となれば幸いです。
- 問い合わせ先/四日市風の谷ウィンドアンサンブル演奏会実行委員会 Tel.080-3283-9682 E-mail [kazenotani@red.ne.jp](mailto:kazenotani@red.ne.jp)  
ホームページ <http://kazenotani.red.ne.jp/>

### 『理想の生活圏とは?まちファン夢を語る集い』

- まちのファンクラブ8月交流会 東員町に集合!そーいんぐ・夢(ドリーム)との交流会
- とき/8月23日(土) PM6:00~PM9:00
- ところ/東員町保健福祉センター2F会議室

(東員町山田1600 役場西側 Tel.0594-86-2821)

- 参加費/会員300円 一般 500円
- 内容/そーいんぐ・夢とは桑名員弁地域で、特に広域的に取り組まなければならない課題について、できるだけ客観的な視点を持って議論し、行政や市民に提案や呼びかけをすることを目的に、20数名ほどの人たち(議員、行政職員、一般市民)が集まったグループ。その得意技は議論です。いつも話がホラ気味で大きいので、あまり具体的な成果はありませんが、楽しく真剣に議論しています。今回は「そーいんぐ・夢」のみなさんと「まちのファンクラブ」のメンバーと一緒に、大きな夢を語る場を共有したいと思います。どなたでも参加できますので、どうぞおいでください。
- 申込・問い合わせ先/511-0068 桑名市中央町1-8東和ビル2F まちのファンクラブ Tel.0594-27-2700(平日PM1:00~PM3:00) ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>
- 主催/そーいんぐ・夢(東員町鳥取1308-1 Tel.0594-76-0581・不定期開局)

### 桑名市市民活動支援室主催平成15年度市民協働事業 みんなでいっしょに何かがはじまる協働セミナー講座 第二講 「あるいてくらせるまちづくり」

僕らの思いと行政の思いってちがうものなの?

- とき/8月25日(月) PM7:00~PM9:15
- ところ/桑名市民会館 第3会議室
- 内容/第二回目の今回は、桑名市の都市計画課が市民と行っている「あるいてくらせるまちづくり」の実践をふまえ、実行委員会形式で行う「協働事業」を事例とし、企画段階から市民と行政が協働していくときの「協働の知恵」を、パネリストたちのにぎやかなテーブルトークと受講者のあいだでテーブルワークで、考えていきます。
- 申込方法/ふらっとホーム・クリエイターズに確認の上、お申し込みください。(下記ホームページに申込書が掲載してあります)
- 企画運営・申込・問い合わせ先/桑名市中央町1-8 東和ビル2F みえきた市民活動センター内 ふらっとホーム・クリエイターズ  
Tel.0594-27-2700(平日PM1:00~PM3:00)  
Fax.0594-27-2733 E-mail [flatoffice@miraiwork.jp](mailto:flatoffice@miraiwork.jp)  
ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/machijoho/koza/>

### 尾鷲ひのきのクラフト体験・展示会

- とき/8月30日(土)、31日(日) AM10:00~PM4:00
- ところ/アスト津 ボランティアセンター内 交流スペース
- 参加費/クラフト参加費500円
- 内容/尾鷲市では、地元特産の「尾鷲ひのき」を薄くスライスしたシートを使った「ひのきクラフト」をアピール。今回はひのきクラフトの最新作品展示と「ひのきうちわ」の製作体験会を行います。ひのきの香りには、脳波を鎮静化し、血圧を低下するなどの癒しの効果が

あります。ひのきの爽やかな香りでリフレッシュしませんか!

●募集人数/クラフト午前の部 (AM10:30~正午) 午後の部 (PM1:30~PM3:00) 各20人

●申込方法/クラフトは基本的に事前申込を。空きがある場合は当日追加募集を行います。定員になり次第締切ります。

●主催・申込・問い合わせ先/尾鷲市役所新産業創造課 (野地敬史) Tel.0597-23-8261

ホームページ [http://www.pref.mie.jp/ONOSYO/HP/meisan\\_mono/hinokicraft/index.htm](http://www.pref.mie.jp/ONOSYO/HP/meisan_mono/hinokicraft/index.htm)

### 第333回NACS-J自然観察指導員講習会・三重県

●とき/9月5日(金)~7日(日)2泊3日

●ところ/合歓の郷(浜島町大崎半島 Tel.0599-52-1111)

●参加費/宿泊・食費14500円 テキスト3400円

●内容/基本的な自然保護の考え方や自然観察の方法を研修し、自然観察指導員を養成します。自然観察指導員とは地域に根ざした自然観察会を開き、自然を自ら守り、自然を守る仲間をつくるボランティアリーダー。この講習会をきっかけに自分のスタイルで地域の自然観察会を開き、自然を大切に思う仲間の輪を上げていってください。受講対象者は満18歳以上で、期間中すべての講習および野外実技を受講できる方。自然保護教育の必要性を認識し、自然観察活動の推進に意欲があり、できることから実践の第一歩を踏み出してくださる方、または現在活動されている方です。

●募集人数/60人(県内50人、県外10人)

●応募締切/8月11日(月)必着

●申込・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13

三重県環境部人と自然の共生チーム 自然観察指導員講習会係 Tel.059-224-2578 E-mail shizenk@pref.mie.jp

ホームページ <http://www1.eco.pref.mie.jp/shizen1/koshu/index.html>

### 婦人之友創刊100周年記念愛読者会 講演会「生きる力を育む食とくらし」

●とき/9月6日(土)PM1:30~PM3:30

●ところ/津リージョンプラザお城ホール

●参加費/前売500円 当日600円

●内容/家庭の味、始末の心を大切に素材を生かしたためくりのある家庭料理、自然とふれあう暮らしを実践されている料理研究家、中村成子さんを迎え、本当の豊かさとは何かを一緒に考えましょう。

●申込・問い合わせ先/杉野 Tel.059-223-6561

西 Tel.059-225-4931 ●主催/津友の会

### 三重県健康づくりフォーラム

●とき/9月7日(日)PM1:00~PM4:00

●ところ/三重県庁講堂 ●参加費/無料

●内容/毎年9月7日は県民健康の日。今年は、名古屋学芸大学学長・あいち健康の森健康科学総合センター名誉センター長 井形昭弘先生の特別講演とともに、健康づくり推進事業者公表制度に応募された事業者名を公表し、取組みについて話していただきます。また、NPO法人四日市ウェルネス倶楽部さんにヘルピー体操など、気軽にできる体操を教わります。

●主催・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13番地 三重県健康福祉部健康づくりチーム

Tel.059-224-2294 Fax.059-224-2340

E-mail kenkot@pref.mie.jp

ホームページ <http://walk.to/hpm21>

### 第8回 伊勢の国阿漕が浦迎月の宴

●とき/9月13日(土)PM5:30~PM8:30(雨天順延)

●ところ/津市阿漕が浦海岸(JR阿漕駅東へ1km、バス停下弁財300m)※駐車場は、マリナー駐車場をご利用ください。

●会費/『スポンサー協賛』 一口1万円(指定席5名分つき)

『協力参加券』一人1000円(自由席)

●内容/中秋の名月を背景に、能「阿漕」の幽玄と雅の世界にふれてみませんか。唐人おどりや獅子舞も花をそえます。今年から、地域の祭りとして発展することを願って、実行委員会を結成し、開催することになりました。現在、スポンサー募集中です。

●申込・問い合わせ先/514-0834 津市大倉10-21 (特)阿漕浦友の会 Tel.059-226-7974 Fax.059-225-4323

513-0826 鈴鹿市住吉1丁目13-1 (特)緑のネットワークみえ・自

然環境創造協会 Tel.0593-75-7825 Fax.0593-75-7826

●主催/伊勢の国阿漕が浦迎月の宴実行委員会

●共催/(特)緑のネットワークみえ、自然環境創造協会

### 実践に役立つ南修治カウンセリング講座(初級コース)

●とき/平成15年9月18日・10月16日・11月20日・12月18日

●平成16年1月8日・2月19日・3月18日・4月8日・5月20日・6月17日・7月8日AM10:00~PM12:30(月1回木曜、全11回)

●ところ/なや学習センター(四日市市蔵町4-17

Tel.0593-57-1370) ●募集人数/30人

●受講料/前期13000円 後期12000円(資料代込み)

●内容/講師の南さんは、シンガーソングライター。長年、全国の学校などでコンサート活動を続ける中、不登校や神経症、非行などに痛みを持つ子どもたちの援助活動や母親との相談活動を通して実践的にカウンセリングを学びました。この講座は、理論と実技の両方からアプローチし、初めて心理学を学ぶ人にもわかりやすく、現在問題をお持ちの方にはその日から役立ちます。また将来カウンセラーを志す人には学びの導入になるはず。受講資格は18歳以上。

●申込・問い合わせ先/あったかハートになる会(片岡佐智子)

Tel.0593-52-8119

### ネットワークのよびかけ

#### ▲▲ みんなで守ろう三重の里地・里山! ▲▲

三重県では里地・里山の保全活動を支援するため、三重県自然環境保全条例にもとづいて、平成15年度より団体の計画とみなさんの活動を認証する制度により、支援を行って行きます。

【1「里地里山保全活動計画認定」制度】

里地里山を保全しようとする団体の保全活動に関する「計画」について、知事が認定し、その活動が促進されるように支援を行います。

(1) 団体からのメッセージ等を掲載した認定表示板を交付します。

(2) 県HP等で団体の活動内容等を紹介します。

(3) 活動に関する情報提供、アドバイスを行います。

(4) 活動計画の実施に必要な器材等の購入経費を補助します。

【2「みんなで自然を守る活動の認証」制度】

団体の自然環境を保全する「活動」を知事が「みんなで自然を守る活動」として認証するとともに、支援をするものです。

(1) 団体からのメッセージ等を掲載した認証表示板を交付します。

(2) 県HP等で団体の活動内容等を紹介します。

(3) 活動に関する情報提供、アドバイスを行います。

認証を希望される場合は、活動地を担当する県民局生活環境部までお問い合わせください。

●問い合わせ先/三重県環境部 人と自然の共生チーム

Tel.059-224-2627 E-mail Shizenk@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/data-syu/pamfh/sato/index.html>(里地里山の制度に関するホームページ)

### 多文化共生社会のシンボルマークを募集します

県内には、現在約3万7千人の外国人の方がいます。これは、私たちが、日頃から多様な文化的背景を持った人々と出会い、そうした文化と触れあえる恵まれた環境にいるということの意味しています。

三重県では、考えや習慣などの違いを文化的な豊かさの源泉と考え、それぞれの人が個性と能力を發揮し、お互いが尊重し協力し合い、すべての人が生き生きと暮らせる多文化共生社会の実現を目指しています。今回、多文化共生社会づくりを県民のみなさんとともに進めていくために、シンボルとなるマークを募集します。みなさんがイメージする多文化共生社会の姿をデザインしてください。

●シンボルマーク/縦横5cm以内、色彩自由。

●シンボルマークの使用法/外国人緊急カードのほか、ホームページ、多文化共生社会事業に関するあらゆる機会に使用します。

●応募締切/9月30日(火)必着

●応募方法/郵送。応募要項は電話で申込むか、ホームページ参照。

●応募・問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700アスト津3階

三重県生活部国際チーム「シンボルマーク募集」係

Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984

E-mail kokusai@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/KOKUSAI/HP/>

### 日米NPOインターンシップ・プログラム参加者募集

米国NPOでのインターンシップをとおして、日米に共通する社会間

題やNPOへの理解を深め、課題へのアプローチや組織の運営について体験を通して学ぶ機会を提供します。さらに、日本と米国のNPOスタッフや市民活動家とのネットワークを深め、中長期的な協力関係を継続できるパートナーシップや協働プロジェクトの基礎づくりを目指します。詳細はお問い合わせください。

- とき/平成16年2月3日(火)～3月24日(火)
- ところ/米国サンフランシスコ ●参加費/265,000円
- 対象/NPOまたは市民団体の運営・経営にかかわっている方、市民活動に携わっている活動家、行政・企業など他セクターからNPOセクターへの転職を希望されている方、これまでの経験や専門性を活かしてNPOを立ち上げたい方など。
- 募集人数/25人 ●応募締切/8月25日(月)
- 問い合わせ先/113-0033 東京都文京区本郷7-2-2-9F 日米コミュニティ・エクステンジ(担当:星、大出) Tel.03-5805-3920 Fax.03-5805-3921 E-mail info-j@jucee.org ホームページ <http://www.jucee.org/jp>

## ライトミュージックフェスティバル(第15回LMF)

三重県で活動するアマチュアミュージシャンたちの「憧れのステージ」と呼ばれているライトミュージックフェスティバル。色とりどりの電飾や看板、クリスマスツリー、サンタクロースに扮したスタッフなど、ふるさと会館の内外をクリスマスムード一色に変えた中で、楽しく、熱のこもったライブが期待できるアマチュアバンドを大募集。チラシ兼応募用紙は、県内市町村の文化担当課や楽器店・ライブハウス・練習スタジオなどにあります。応募グループには抽選で20グループにCD券のプレゼントも。

- とき/12月20日(土) ●ところ/嬉野町ふるさと会館大ホール
- 応募資格/主要メンバーが県内に居住、または、勤務しているアマチュアで、社会人中中学生以上のグループ、個人。
- 応募曲/オリジナル、コピーを問わないが、登録したメンバーでライブ演奏できるもの。詳細は、チラシ兼応募用紙に記載。
- 応募締切/9月7日(日)必着 郵送の場合は消印有効
- 申込・問い合わせ先/515-2332 嬉野町津屋城1420-1 三重県軽音楽振興協議会事務局 Tel.0598-42-6656 515-2322 嬉野町須賀1430 嬉野町教育委員会生涯学習室 Tel.0598-48-3822 515-2323 嬉野町権現前423-88 嬉野町ふるさと会館 Tel.0598-42-7000

## まちの保健室

保健師・助産師・看護師が女性の健康づくりを支援します。子どもから高齢者の方まで、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。費用無料、秘密は厳守します。

体験を通して自分自身の健康状態を知ろう!…血圧測定、骨密度測定、体脂肪測定など(水曜のみ)

「ここ」や「からだ」のこと、なんでも相談してください。…女性の相談を中心に応じています。(電話相談も受け付けています。Tel.090-7316-1246)

ひとりで悩まず、みんなで不安や悩みを分かち合い、共に解決への第一歩をふみ出してみませんか。…少数グループでの意見交換会なども予定しています。

- とき/毎週水曜・土曜 AM10:00～PM4:00
- ところ/アスト津3階(津市羽所町700)
- 主催・問い合わせ先/津市観音寺町東浦457-3 (社)三重県看護協会 Tel.059-225-1010 Fax.059-226-5200

## 実行委員大募集!! ガツ津しみかつフェスティバル

～響け、音楽とともに、市民活動の輪～

津市市民活動センターは津市から運営委託された津市市民センター運営委員会が運営しています。ここの大きな特徴は、津市中心部の津センターパレスビル内に広いスペースがあり、市民活動やボランティア活動をしている人だけでなく、だれでも気軽に利用できることです。そこで、津市市民活動センター運営委員会では、さらに多くの方に市民活動に興味を持っていただくため、音楽と交流のイベントを計画しました。さまざまな人と楽しみながらイベントをつくっていきたくと思っています。「民族音楽」「市民活動」「津」「おもしろい事」をキーワードに一緒にイベントを作りませんか?演奏できるかどうかは問いません。音楽が好きで、音楽のイベントに当日だけでなく、夜中心に行われる打ち合わせにも参加できる人、ご参加を。

- とき/平成16年1月18日(日)AM10:00～PM4:00
- 募集人数/10～15人程度

- 問い合わせ先/514-0027 津市大門7-15センターパレス3階 津市市民活動センター事務局 Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201 E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>
- 主催/津市市民活動センター運営委員会、ガツ津しみかつフェスティバル実行委員会

## NPOの活動を無料で広報!!

SPREAD(スプレッド)は学生デザイナー集団。県内外の学生ネットワークとデザインを生かした広報活動を提供したいと考えています。私たちのデザインするポストカードは一般の広報誌に比べ、デザイン性が高く、特定の層にPRできます。また、カードの制作費は県内の企業や店舗にスポンサーとなっただけ、NPO団体からはいただきません。県内外の大学のキャンパス内や一般店舗の店頭などで一般市民に無料で配布します。私たちの目的は、デザイナーの力を発揮できる場を作ること、NPO活動を広報することで三重県を活性化させることです。現在は、活動を広報したいNPO団体、カード制作のスポンサーとなっただけの企業、仲間を募集中です。

- 問い合わせ先/SPREAD(代表:石川) Tel.090-9021-1841 E-mail majiroofficial@hotmail.com

## 「みえハートフェスタ2003」に参加しませんか!

「みえハートフェスタ2003」は、新たな健康福祉文化の創造をコンセプトに、県民の健康や福祉への関心を高め、地域住民や様々な団体が出会い、交流、協力しあうことで、豊かで暮らしやすい地域社会づくりへの契機にしようとするものです。なお、参加の具体的な内容については、事務局で調整させていただきます。いろんな団体、グループ、そして個人の方の参加をお待ちしています。

- とき/12月6日(土)～7日(日)
- ところ/メッセウイングみえ(津市北河路町19-1)
- 申込・問い合わせ先/津市丸の内17-11岡林西ビル1階 Tel.&Fax.059-229-0880
- 主催/みえハートフェスタ2003実行委員会、三重県

## NPO法人椿アンサンブルチャリティーコンサート

ボランティア&参加者大募集!!

県内の養護施設や海外の福祉事業への支援と、ボランティア活動の振興・社会福祉の向上に寄与する事を目的としたチャリティーコンサートです。1部は雅楽や舞楽、2部は津軽三味線奏者の上妻宏光さんを特別ゲストに迎え、感動的な音楽をお楽しみいただけます。

- とき/11月29日(土)PM1:00開場 PM2:00開演
- ところ/県営サンアリーナ サブアリーナ(伊勢市)
- 一般入場料/前売3000円 当日3500円(全席自由・発売中)

【ボランティア募集】  
当日、お手伝いいただけるボランティアを50人、募集しています。ボランティアの内容は駐車場案内、会場整理、障害をお持ちの方の会場案内などです。

【参加者募集】  
障害をおもちの方、養護施設の子ども達に、普段触れる機会の少ない生のコンサートを楽しんでもらうことを目的に、無料招待席を300席(介助者1名を含む)を準備しました。参加希望の方は下記までお問い合わせください。

- 募集/(1)障害をおもちの方介護者含200人 (2)三重県養護施設協会の児童100人
- 主催・申込・問い合わせ先/517-0501 志摩郡阿児町鶴方2320-2 NPO法人椿アンサンブル Tel.&Fax.0599-43-8385 E-mail info@tsubaki-e.org ホームページ <http://www.tsubaki-e.org>

## みなさんへのお知らせ

【NPOチームからのお知らせ】  
NPO(ボランティア・市民活動団体等)からの協働事業提案を募集します!

三重県では、行政側で企画・立案し、実施段階でNPOに協働を呼びかける、「行政発」の協働が大半を占めており、真のパートナーシップによる協働が進められているとは言い難い状況にあります。そこで、以下のテーマについてNPOが自ら企画、事業提案し、相互

に議論・検討し、協働できる事業の構築・推進する試行事業（3件程度採用予定）を行います。この試行を通じて、NPOと行政とが適切な役割分担のもと、協働して公共的サービスを提供していく、「NPO発」の仕組みの構築を行い、真のパートナーシップによる協働を推進しようとするものです。

●提案事業を募集／(1)三重県との「協働事業提案」であること。  
(2)「協働事業提案」とは、NPOと県が協働で取り組む事業の内容について、NPOが企画した協働事業を行政に提案するものです。  
(3)NPOからの協働事業提案は、NPOと県が協働で取り組む事業についての提案とします。

(4)協働事業提案のテーマは、次の中から選ぶものとします。  
1、県庁各部から協働を希望するテーマ（7月22日（火）確定）

#### 2、自由テーマ

●受付期間／「協働事業提案書」及び関係書類を、下記へ直接、または郵送、Fax、E-mailで提出してください。（提案書様式は、アスト3階NPOチーム他、各県民局生活環境部にあります。なお、ホームページからもダウンロードが可能です）

8月1日（金）～8月31日（日）（郵送の場合当日消印有効）

●応募資格／以下の要件に該当する団体であることが必要です。  
(1)三重県内で活動しているNPOであること。NPO法人であるか否かは問いません。

(2)活動分野は特に限定しませんが、宗教活動や政治活動を主たる活動目的とした団体ではないこと、また、特定の公職者（候補者を含む）または政党を推薦、支持、反対することを目的とした団体ではないこととします。

●企画の審査／NPOから提出された協働事業提案企画書により、選考委員会が公開審査します。

●備考／この協働事業提案募集事業については、平成15年度と平成16年度の2カ年のみ、実施することとします。

●問い合わせ先・提案書提出先／514-0009 津市羽所町700 アスト津3階三重県生活部NPOチーム Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

ホームページ <http://www1.mienpo.net/npot/>

●助成の対象となる活動と助成の額／【ボランティア団体基盤強化助成】福祉活動を目的としたボランティア団体活動の基盤を整えるために必要な器材・器具の助成（1団体1回のみ） 限度額1団体30万円以内

【平成16年度実施ボランティア活動資金助成（H15申請受付、H16年度配分）】福祉活動を目的としたボランティア団体の事業実施に伴う助成で、その活動については、先駆的・モデル的な活動（福祉のまちづくり）の経費 限度額1団体50万円以内

●応募方法／各市町村社会福祉協議会を通じて、交付申請書を提出。

●問い合わせ先／（財）三重ボランティア基金事務局

津市桜橋2丁目131番地 Tel.059-227-9994

## コミュニティケア活動支援プログラム

●受付締切／8月11日（月）必着

●助成の対象となる団体／コミュニティケアに関わる活動に取り組んでいる、または各地のコミュニティケア活動を支援している団体。法人格の有無は不問。  
●助成の対象となる活動／広い意味でコミュニティケアにつながるもので、新しい活動を起こすプロジェクトを対象とします。

●支援形態／【(1)資金助成プログラム】（総額1100万円 1団体50万円、15団体）…最終選考に残り、公開選考会で資金助成先とならなかった15団体には活動支援補助費として20万円を助成。他にイベント支援費として、別途50万円の支援費を用意。これに関しては活動支援のなかで募集。

【(2)活動支援プログラム】…資金助成プロジェクトに関しては、支援される団体の要望に応じて、助成資金が効果的に活用されるように可能な範囲で相談にももっていきます。資金助成の対象に選ばれなかった団体に関しても、情報面やプロジェクト推進のための相談に可能な範囲で応じていきます。この活動に参加した団体を中心に、交流会を開催します。

●応募方法／ホームページからダウンロード。郵送希望者は「応募要項希望」と明記し、氏名、住所、郵便番号、電話番号を添え、Faxまたはハガキで申込。

●問い合わせ先／コミュニティケア活動支援センター

113-0033 東京都文京区本郷3丁目37-8 Tel.03-5689-0957

Fax.03-5689-0958 E-mail comcare@nifty.com

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/comcare>

## 三重県遊技業福祉連合会

●受付締切／8月15日（金）必着

●助成の対象となる団体／三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ  
●助成の対象となる活動／(1)学習会・研修会の開催(2)調査・研究の実施(3)福祉教育・ボランティア啓発の実施(4)ボランティアグループによる先駆的・モデル的活動(5)器具・器材の購入(6)その他

●対象事業の期間／平成16年1月1日～6月30日

●助成の額／1団体20万円以内（10～20団体を予定）

●応募方法／所定用紙は下記のホームページからダウンロード。郵送で申請。

●問い合わせ先／三重県遊技業福祉連合会事務局

514-0006 津市広明町328（株）津ビル内（担当：山川、山添）

Tel.059-221-1677 Fax.059-227-7332

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyoo/>

## （財）大和証券福祉財団助成

●受付期間／8月1日（金）～9月15日（祝・月）消印有効

【ボランティア活動】

●助成の対象となる団体／ボランティア活動を目的とした団体・グループ。県または市町村の社会福祉協議会などの推薦が必要。

●助成の対象となる活動／在宅老人、障害児・者、児童問題など。

●助成の額／1件あたり上限30万円。総額5000万円

【ボランティア活動等に関する調査研究助成】

●助成の対象となる団体／研究委員会を組織すること。

●助成の額／上限100万円。3件まで

●応募方法／用紙の申請は電話、Faxまたはホームページからダウンロード。

●問い合わせ先／（財）大和証券福祉財団 103-8219 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル Tel.03-3665-5147

Fax.03-3662-0495 ホームページ <http://www.daiwa.co.jp/group/kouken/index-s.html>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやアクセスサービスでも閲覧できます。財団法人 助成財団センター

Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858

ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

## 助成金 ニュース

### 青少年地域ふれあい環境づくり活動促進事業補助金第2次募集

●受付期間／8月1日（金）～8月29日（金）

●助成の対象となる団体／市町村または地域において青少年育成活動を自主的・主体的に行うことを目的として、平成13年度以降に設立された団体

●助成の対象となる活動／地域住民の方や地域の関係者の方による自主的・主体的な、次の活動やその体制づくりについて補助します。

【1 青少年地域ふれあい活動事業】

ア・自然・生活体験活動（自然観察、環境保全活動、キャンプなどの宿泊活動、伝統芸能継承活動、乳幼児とのふれあい活動など）

イ・社会体験活動（商業、農林水産業や地場産業の体験など）

ウ・科学体験活動（科学実験教室や科学ものづくり活動など）

エ・親子体験活動（ハイキング、読み聞かせ、伝承遊び、工作など）

オ・社会奉仕体験活動（清掃活動、身障者や高齢者介護、消防団活動への参加など）

カ・交流体験活動（スポーツ・文化・芸術活動等を通じた交流活動など）

キ・その他子どもと地域とのふれあいを通じた青少年の健全育成を図るための活動

【2 青少年地域ふれあい活動機会提供事業】

子ども体験発表会、講演会、セミナー、フォーラム、家庭教育講座、子育て相談、情報誌の発行など、子どもと地域のふれあいを通じた青少年の健全育成活動への学習機会などを地域に提供するために必要な活動

●助成の額／対象経費のうち15万円を上限、10団体程度。

●応募方法／定められた申請書等に必要事項を記入のうえ、各団体事務所等の住所地がある県民局生活環境部生活環境創造チームに提出。申請書等は下記から取り寄せるか、ホームページからプリントアウトして使用。

●問い合わせ先／三重県生活部青少年育成チーム（担当：野島）

514-0009 津市羽所町700番地アスト津3階 Tel.059-222-5986

Fax.059-222-5979 E-mail seiiku@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/SEIKU/gyousei/fureai/index.htm>

## 三重ボランティア基金

●受付締切／9月30日（火）

●助成の対象となる団体／現在、県内各市町村社会福祉協議会にボランティア団体として登録され、計画的・継続的に地域の高齢者や障害者・児童に対する支援を行っている団体。

# 伊賀地区

## WT.Aまちづくりセンター情報

〒518-0866 上野町小田町3045-1  
 Tel.0595-24-2612 090-9226-1526  
 Fax:0595-22-0072 代表:中室 3T  
 E-Mail: nag:4943@eaweb.ne.jp

**新体制とよろしく話し合おう**

WT.Aまちづくりセンター

「WT.Aまちづくりセンター」は、伊賀県民局のNPO指定と協働を進めています。伊賀のまちづくり活動には「WT.Aまちづくりセンター」が、まちづくりの中心として活躍しています。ご協力をお願いします。

6月19日(火)  
 18:30~20:30  
 上野町小田町3045-1 3F

伊賀市「協働」といふのは、上野町協働センターと「WT.Aまちづくりセンター」が、伊賀のまちづくり活動の中心として活躍しています。ご協力をお願いします。

伊賀市「協働」といふのは、上野町協働センターと「WT.Aまちづくりセンター」が、伊賀のまちづくり活動の中心として活躍しています。ご協力をお願いします。

**ボラティア・市民活動相談と交流会**

当センターと上野町協働センター、伊賀県民局のNPO指定と協働を進めています。伊賀のまちづくり活動には「WT.Aまちづくりセンター」が、まちづくりの中心として活躍しています。ご協力をお願いします。

6月19日(火)  
 18:30~20:30  
 上野町小田町3045-1 3F

伊賀市「協働」といふのは、上野町協働センターと「WT.Aまちづくりセンター」が、伊賀のまちづくり活動の中心として活躍しています。ご協力をお願いします。

**第2回 ボラティア・市民活動支援センター交流会**

名目には、伊賀のまちづくり活動の中心として活躍しています。伊賀のまちづくり活動には「WT.Aまちづくりセンター」が、まちづくりの中心として活躍しています。ご協力をお願いします。

日時: 平成19年6月30日(土) 午後1時半~5時  
 会場: 300円

伊賀市「協働」といふのは、上野町協働センターと「WT.Aまちづくりセンター」が、伊賀のまちづくり活動の中心として活躍しています。ご協力をお願いします。



# 桑名地区

いなべ子ども活動支援センター  
 511-0202 員弁郡員弁町楚原940 員弁町コミュニティプラザ内  
 Tel.0594-74-4144 Fax.0594-74-4146  
 E-mail inabecs@mac.com ホームページ <http://www.ocn5.ne.jp/~inabecs>

## 地域の人々による地域の学校づくりに取り組んでいます

6月7日に、員弁町コミュニティプラザでコミュニティスクールの開校式があり、生徒、保護者、スタッフ併せて150名が集まりました。今年度はメニューも4教室から10教室(自然体験環境エコ、歴史発見、和太鼓、つくってあそぼう、エジソン工房、ハモネブしよう、子ども英会話、箏と三味線、みちくさビデオ、油絵入門)に加え、現在約100名の子どもたちが、学びたいことを自主的に選んで参加しています。

昨年度から小中学校で学校完全週5日制が実施されました。「子どもたちが家庭や地域で過ごす時間を増やして“生きる力”を身につけさせたい」という意図はわかりますが、一方で、安心できる自分の居場所をなかなか見つけられずにいる子どもたちもいます。

そこで、こうした課題に地域の人々が主体となって取り組んでいけるようにとスタートしたのがコミュニティスクールです。自分たちが持っている能力や経験を発揮できる場をつくり、そうした活動が一人ひとりの生きがいづくりにつながれば、結果としてまち全体がイキイキとしていくのではないかと…地域コミュニティには、異世代がふれあう機会が多く、家庭でも学校でもできないことを実現

できる可能性を持っています。

このコミュニティスクール事業を裏方で支えているのがいなべ子ども活動支援センターで、広報紙の発行、HPの作成、人材バンクの整備などを行っています。まだまだ事務的な作業が多くを占めていて、「支援センター」とは名ばかりの存在ですが、子ども活動に関わるさまざまな相談にも対応できるように、内容を充実させていきたいと考えています。当センターのとりくみはまだ始まったばかりで課題もたくさんありますが、今のさまざまな教育問題に対するアプローチの一助になればと考えています。

ぜひ、いなべのコミュニティスクールを一度のぞいてみて下さい。「地域の人々による地域の学校づくり」にいっしょに取り組んでいきませんか。  
 (事務局長・井上淳之典)



# 志摩地区

志摩市民活動通信・SANPO  
 517-0502 志摩郡阿児町神明764-165  
 志摩サイバーベースセンター310号室SURF内  
 Tel.&Fax.0599-43-4564(留守番電話になっています)  
 ホームページ <http://www.sanpo.info>

## 文部科学省 委託事業「学校と地域が連携した奉仕活動・体験活動推進事業」ドキ・ワク阿ミ〜児 活動支援センター登録者募集

現在、子どもたちは非常に厳しい社会情勢の中で生活していると言われています。その理由として挙げられているのが、出生率の低下による少子化問題や教育問題。今や社会問題にもなっている青少年犯罪や不登校生の問題。これら幾多の事象は全国的な課題となっています。

ただし、問題はばかりではなく、対策として例えば、阿児町では各種団体による子どもたちへの支援事業が盛んで、子どもたちも積極的に参加しています。

今回、阿児町では阿児町地域教育・体験活動推進協議会を立ち上げ、これらの課題について協議、検討していくこととなりました。

また、協議会とともに「ドキ・ワク阿ミ〜児 活動支援センター」を設置し、それぞれの活動を行っている団体をコーディネートすることにより、更なる「子どもの居場所」の充実を目指します。

また、協議会では、既存する事業の情報発信や周知活動を行い、各種団体を側面からサポートします。

これに伴い、活動支援センターへ登録いただき、ご支援頂ける方を募集します。登録その他、お問合せは以下事務局まで。  
 ●事務局/阿児町生涯学習課(関戸) Tel.0599-44-3700



# ▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。地元での活動にこだわり、神社の境内を会場にした出前コンサートを開催している小川多恵子さんからバトンが渡ったのは西村昌子さん。音をキーワードにした環境づくりに取り組んでいます。

## 童謡を歌い継ぐ会

……現在のような市民活動を始めるきっかけは？

昔、少し琴を習ったのですが、琴は家元制度もあり、誰もが気軽にできる楽器ではありません。それで、琴を使って、誰もが気軽に参加できる活動ができないかと考えたのが、子どもや高齢の方と一緒に童謡を歌う集まりでした。また、それと並行するカタチで四日市が開催した女性リーダー養成講座を受けたり、個人的に興味のあった福祉住宅や在宅介護の様子を東京まで夫と一緒に見学に行ったりしました。その後、四日市市の高齢福祉課の課長さんが女性リーダー養成講座の講師をされていたこともあって、福祉住宅の資料などをそちらにお渡ししたことがきっかけとなって、四日市総合会館を貸していただけることになったので、「高齢化にめげない暮らしのセミナー」という企画を始めました。

……そのセミナーはどのような内容だったのですか？

シニアハウスや税金、年金のことなど、いろいろなテーマで行い、その中の一つとして童謡を歌う「童謡を歌い継ぐ会」も入れました。名古屋などから講師も招いたのですが税金などのテーマだと、1回目は初歩の知識でも、続けていくと個別の対応が求められるようになるでしょう？それで、続けられなくなっていった、最終的に「童謡を歌い継ぐ会」だけが残ったんです。

……童謡を歌い継ぐ会の活動内容を教えてください。

月に2回、私の琴と篠笛を演奏される方が伴奏を担当し、童謡を歌っていました。

……なぜ童謡だったのですか？

今では学校などでも歌われることがなくなってきた童謡を残したいと思ったんです。童謡の中には風景だったり、綺麗な日本語だったり、いろいろなものがありますから。

……人数はどのくらいですか？

最初はこじんまりとしたものでしたが、新聞に掲載されたことから、一気に参加人数が増え、講師に来ていただくようになりました。伴奏もピアノになって、最終的には名簿登録が300人ほどになりました。毎回60人の部屋に80人余りが集まったんですよ。

……すごい人数ですね。

新聞掲載の影響で、問い合わせ電話が100本ぐらいありました。童謡と聞いて、皆さん懐かしさを感じたようです。電話の向こうで、童謡に対する想いを話してくださった人もたくさんいましたし、遠くから参加される方も増

えました。15年ほど前は、家に籠もっている高齢者の方も多かったですから、心を開きあえる交流の場を必要とされていたんでしょうね。

……皆さん、元気に声を出されるのですか？

それは凄いですよ(笑)。何十人も集まるとすごく大きな声のうねりができるんです。歌わなくても、その中で聞いているだけでも心地いいんですよ。

……現在も活動は続いているのですか？

人が増えたことと、私が別の活動を始めたこともあり、講師の方が会場を四日市市文化会館に移して、どんどん発展させておられます。一方、総合会館では、メンバーの一人が20年かけて集めた童謡の資料などを生かし、なごやかな少人数の会が続けられています。

……西村さんが始めた別の活動とは？

水琴窟をきっかけに、音から環境を考えるという活動に出会ったんです。当初は童謡の会でも、勉強会やイヤゲームなどを行い、そこからどんどん音の世界へ入っていきました。

## 水琴窟に出会う

……まず、水琴窟について教えてください。

水琴窟とは釣り鐘状の瓶を伏せて土の中に埋め込み、瓶の底にあけた穴から落ちる水滴の音の反響を楽しむもので、江戸時代後期に考え出された造園技術です。長いこと忘れ去られていた技術なんですけど、これを甦らせる活動に取り組んでおられた日本の音研究所、現在は日本水琴窟フォーラム理事長の中野之也さんと出会いました。そして日本の生活文化の音について楽しいお話をいろいろ聞き、音風景に興味を持つようになりました。ある時、水琴窟と箏のジョイントコンサートがあり、そこで移動式の卓上水琴窟が使われていました。

……移動式水琴窟とはどんなものですか？

見た目は普通の瓶ですが、水を落とすと地下と同じような響き方をするよう工夫されています。当時、私は保育園にパートで勤めていたので、「この音を子どもたちに聞かせて欲しい」とお願いしたんです。

……水琴窟を使ったコンサートがあるのですか？

最近、東京のサントリーホールなどでも様々な楽器とのジョイントコンサートが開かれているそうです。今、三重県でも計画されています。

……子どもたちの様子はどうでしたか？

とても真剣に聞いたものだから、中野さんをはじめ、周囲の大人たちもみんな感動しました。

……水琴窟の魅力は？

水琴窟に耳を傾けていると、自分の心を語る言葉をひょいっと引っ張り出してもらえそうな気がします。水琴窟に話しかけることで、潜在的な心がつぶやき出すというか…。

……なぜ水琴窟が廃れてしまったのですか？

地下につくられるものですから、長い年月のうちに枯れ葉や土が積もって、音が出なくなってしまうらしいです。日本水琴窟フォーラムの理事で、水琴窟師の田村光さんは「日本の伝統文化として海外にも広めようと思ったら、江戸時代の物のように年月を経て、聞こえなくなってしまうようではいけない。現在の技術を駆使して、200年先でも確実に音が聞こえる水琴窟をつくる責任がある」と掃除ができる水琴窟をつくっています。



ブンテックNPOグループ  
西村昌子 さんに  
聞く

## 音から環境を考える

……もう一つの、音から環境を考える活動を教えてください。  
例えば水琴窟の音に耳を澄ませてから、日常の音に耳を向けるとたくさんの音があることに気がきます。なかには人の背中をポンと押して、元気づけてくれる音もあれば、不快な音もあります。そういった音から、環境をイメージしていく。耳をすますことで、何が見えてくるか。それが一番の基本です。これなら見えない部分も音からイメージできますし、それがどう環境に繋がっていくかも考えることができます。

## 活動は子どもたちの好奇心にリードしてもらいたい

……実際、どのような活動をされましたか？  
平成12年11月に行われた第12回全国生涯学習フェスティバル(まなびピア2000)の時、音の専門家が集まって「音から環境を考える」というシンポジウムを開きました。この時に音地図を提案されていた小林田鶴子さんに出会い、現在私が代表をさせていただいているブンテックNPOグループの活動に音地図を取り入れることで、周囲とネットワークできるようになりました。活動について「みんなあつまれ 街の総合学習がはじまるよ」というテキストにまとめ、平成16年に発行しました。  
……ブンテックNPOグループのメンバーは？  
現地スタッフは私を含めて4人。その他、専任講師として田村光さん、小林田鶴子さん、ルポライターの牧坂秀敏さんたちが参加してくださっています。牧坂さんは東京の小学校のPTA広報部が全国に先駆けて「総合的な学習の時間」について親・子・教師に対してのアンケート調査に取り組まれていたことから、小林さんに紹介していただきました。人が人を呼ぶ感じで集まってきたんです。  
……専門的な方が揃っていますね。  
ブンテックはプロの集まり。私は場所づくりだけです(笑)。  
……音地図とはどんなものですか？  
パソコン内に地図を描き、そこに録音した音や写真、絵などを貼り付け、地図上の場所をクリックすると声や音が聞けたりするものです。これによってその場所へ行かなくても場所の様子を想像したり、そこにいる人をイメージできたりするんですよ。  
……どんなソフトを使っているのですか？  
ワープロソフトのワードです。このソフトは音も画像も取り込むことができるし、大抵の人が知っている基本的なソフトですから。  
……音はどうやって入れるのですか？  
子どもたちがいろんな場所へ取材に行っておカセットテープに録音してきます。保育園やグラウンドゴルフをしている音もあれば、四日市市総合会館の地図をつくった時は各部署の人々に取材をし、その声を録音してきました。パソコンに取り入れるのはイヤホンジャックからそのまま取り込みます。小学生でも簡単にできるんですよ。  
……音を入れると行っても、長くなりすぎたりはしませんか？  
その場を説明するのに一番ふさわしいワンポイントの音ってありますよね。それを子ども自身が考えて、取り出すんです。  
……ビデオなら音も映像も同時に取り込めますか？  
音って、人それぞれ聞き方やそこからイメージするものが違って



音地図。パソコンで見ることが出来ます。

音の泉サロンには子どもたちも遊びに来ます。



んです。ビデオで画面を切り取るとイメージの広がりが狭くなってしまふでしょう。画像も写真だけでなく、抽象画やイラストで表現することもあります。この場所で、こんな音を聞いて、こう感じた…。そんな風に自分の意志を表現できるのが、音地図なんです。

……音地図をどのように活用したのですか？  
四日市市立笹川中学校では総合学習が始まる前に、「町のスペシャリストを探そう」という企画を行っていました。生徒さんがグループに分かれて、町へ出ていろんな人の話を聞いたりしたんです。私の家にも来て、水琴窟に耳を傾けていたりしました。この活動を学校がCD-ROMにまとめてくださったので、それを小林さんに見せたところ、「これは凄い活動だ」と。それで、笹川中学と小林さんが組んで、音地図づくりを研究授業として始めました。

……今も続けているのですか？  
3年目になりますが、学校には学校のプログラムがありますから、継続して行くのが難しくなってきました。でも折角、これまで一生懸命取り組んできたのだから、子どもたちがこれまでの授業を生かすことのできる場をつくりたいというのが、私の課題になりました。それで考えたのが「まちの総合学習」です。

……まちの総合学習とは？  
特別な人でなくても、町で生活している人はみな、それぞれの哲学や技を持っていますよね。そういう人たちと子どもたちが出会い、交流できればいいなというところから考えました。たくさんの人と交わることで、子どもたちが自分の将来の仕事を考えたり、好奇心を育てていってこれればいいなと思っています。また、高齢の方も子どもたちと交わることで、苦手な自己表現、自己決定することを身につけていければいいですね。

……年齢差がありすぎて、交わることが難しいのでは？  
水琴窟やパソコンがその間を埋めるツールになればいいですね。音地図に高齢の方が歌った童謡や民謡を取り入れたりもできますし、水琴窟に耳を澄ますのは年齢は関係ないでしょう。それに昔のことを知っている人から直接、子どもたちに町のことを話してもらうのも大事なことです。

……拠点？  
今年の3月、共同募金会さんから助成をいただき、四日市市高花平に一軒家を借りることができました。音の泉サロンと名付けたこの場所を拠点に活動をしていく予定です。私はここを、技や知恵を持っている方たちの集会的に開きながら、活動は子どもたちの好奇心にリードしてもらいたいと考えています。こういう場所がどの町にも一つずつあれば、高齢者から子どもたちまで一緒にまちづくりに参加できると思いますね。

……子どもたちも遊びに来るのですか？  
気軽に遊びに来ますよ。以前は土曜日に笹川中学で研究授業をしていた子たちが音地図づくりをしに来ていました。これからは常に開けておいて、誰もが自由に来られるようにしたいと運営体制を整えていく予定です。

音の泉サロン  
住所/四日市市高花平1-1-174  
Tel.0593-22-7784

## 西村昌子さんはこの人を紹介します。

高橋 正さん  
子どもの絵を集めて絵本を作成したり、海や川を守る活動など、多分野に渡って活躍されています。

## おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。  
(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。  
(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。  
古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。